

# 女性応援プロジェクト ～がんばれ県北地区の女性たち～

教育・研究

ボランティア

地域交流

代表者：工学部情報工学科 4年 升元 つぐみ

## 連携先

ケーブルテレビJWAY、常陸太田市生涯学習センター、常陸太田市青年会議所、日立市らぼーる協会、日立女性フォーラム、日立市青少年イベント企画部、ビューティスタジオエヌズ、みゅーずnet

## 顧問教員

米倉 達広 (工学部 教授)

## 参加者

高萩 沙希 (工学部電気電子工学科 2年)  
吉田 萌子 (工学部電気電子工学科 2年)  
塩澤 美咲 (工学部情報工学科 2年)  
山形 智哉 (工学部情報工学科 2年)  
金濱 裕佳 (工学部知能システム工学科 2年)  
高橋 英里穂 (工学部知能システム工学科 2年)  
中井 美希 (工学部知能システム工学科 2年)  
工藤 千紘 (工学部メディア通信工学科 2年)  
上條 真奈美 (工学部生体分子機能工学科 3年)  
鉄 啓恵 (工学部生体分子機能工学科 3年)  
折原 花菜 (工学部情報工学科 3年)  
重藤 めぐみ (工学部情報工学科 3年)

津野田 依子 (工学部情報工学科 3年)  
李 宜瑾 (工学部情報工学科 3年)  
鈴木 彩斗美 (工学部都市システム工学科 3年)  
西ヶ谷 友美 (工学部都市システム工学科 3年)  
大川 恵里 (工学部機械工学科 4年)  
大和田 詠里 (工学部機械工学科 4年)  
竹内 愛絵里 (工学部生体分子機能工学科 4年)  
畠山 さくら (工学部生体分子機能工学科 4年)  
安蒜 哲哉 (工学部電気電子工学科 4年)  
神崎 俊裕 (工学部電気電子工学科 4年)  
荒井 悠有 (工学部情報工学科 4年)  
笠井 崇宏 (工学部情報工学科 4年)  
清水 麻衣子 (工学部情報工学科 4年)  
高木 真 (工学部情報工学科 4年)  
升元 つぐみ (工学部情報工学科 4年)  
三上 健太 (工学部情報工学科 4年)  
村井 千容 (工学部情報工学科 4年)  
村田 みづ穂 (工学部情報工学科 4年)  
森下 真衣 (工学部情報工学科 4年)  
山崎 真吾 (工学部情報工学科 4年)  
木村 明日香 (工学部都市システム工学科 4年)  
中村 円 (工学部都市システム工学科 4年)  
熊原 友里 (工学部知能システム工学科 4年)  
横内 萌美 (工学部知能システム工学科 4年)

- 伊藤 詩音 (工学部メディア通信工学科  
4年)
- 藤井 理絵 (工学部メディア通信工学科  
4年)
- 亀谷 美百合 (工学部マテリアル工学科  
4年)
- 北川 悠乃 (工学部マテリアル工学科  
4年)
- 大貫 佑 (理工学研究科情報工学専攻  
1年)
- 滝沢 惟 (理工学研究科情報工学専攻  
2年)
- 堀越 朋世 (理工学研究科情報工学専攻  
2年)

## プロジェクトの申請内容

### ●プロジェクト概要

地域情報の流通には、女性のネットワークが大きく影響すると考える。昨年度のアンケート調査からも、情報交換を行う相手が多いのは女性であることが明確となった。幅広い世代の女性たちが交流することによって、それぞれの世代が保有する地域情報の共有が期待できる。しかし、県北地区では女性のための交流、情報交換の場が不足しており、母親を対象に行った本プロジェクトのアンケートでも、地域イベントの機会が不足していることが結果に表れた。実際に交流イベントを開催したところ、募集人数以上の応募が集まり、交流の場が求められている事がわかった。そこで、茨城県北地区の女性たちへ、女性共通の不安や悩みの要素である①人脈づくり ②子育て ③セルフブランディング に対する支援を行い「女性のネットワーク力」を向上させることで女性による地域活性化を図る。また、昨年度同様、活動を通して我々学生と地域住民との交流を深め、地域と密接に関わっていきたいと考えている。

### ●目的

茨城県北地区の地域活性化

### ●本年度の目標

『I like you から I need you へ』  
本プロジェクトの信頼度を高めることで、地域社会との「あったらいいな」の“like”の関係から「なくてはならない”の“need”」の関係へ存在意義を強めていきたいと考え、以下のことを目標とする。

#### <likeの拡大>

- ・日立市から近隣都市へ活動拠点の広域化
- ・地域メディアへの露出による認知度の向上

#### <needへのシフト>

- ・第二次ネットワークへの浸透
- ・イベント参加者に対するアフターケア
- ・地域コミュニティ同士の連携強化
- ・地域団体との連携イベント開催

### ●期待される成果

本プロジェクトの活動により期待される成果は次の2点である。

学生がイベントを開催することによって

- ①学生が潤滑剤となり、地域住民同士の交流が生まれる。
- ②学生と地域住民といった広い世代間での情報交換の場ができる。

このような地域ネットワークの形成・強化・継続により、地域住民の間に密接な地域の絆が生まれる。また、本プロジェクトと地域団体の連携や、地域団体同士の連携が生まれることによって活動の規模拡大や内容充実につながり、連鎖的な地域活性化活動の広がりも期待できる。

## プロジェクトの実施概要

月	内容
5月	・工学祭「パネル討論会 ～女性の就職を考える～」協力
6月	・SNS講座 in 日立市女性センター① (7月まで、全7回実施) ・常陸太田市「太田コン」会議 (10月まで、全18回参加) ・日立市「びたコン」会議 (9月まで全8回参加)
7月	・キックオフミーティング実施
9月	・SNS講座 in 日立市女性センター② (11月まで、全6回実施) ・SNS講座 with みゅーず net (11月まで、全5回実施)
10月	・「女性センター祭り」参加 ・常陸太田市「太田コン」参加
11月	・「リフレッシュ講座」開催 ・「BeautySalon」開催 ・SNS講座 in 常陸太田 (1月まで、全12回実施)
12月	・「リフレッシュ講座リターンズ」開催



「工学祭パネル討論会の様子」



「女性センター祭りの様子」

## プロジェクトの成果報告

### ●今年度得られた成果

#### ◇広報手段の獲得

FMひたちとの連携により昨年9月から、ラジオ番組「ぴたっとラジオン」がスタートした。さらに日立市ケーブルテレビJWAYでは、プロジェクトメンバーを中心とする工学部女子学生による番組「GO!GO!工学ガール」が昨年4月からレギュラー番組になった。これより、活動を取り上げてもらうだけでなく、自ら各メディアで情報を発信できるようになり、広報活動の幅が広がった。現在ではそれぞれが独立し、別個のチームとなり活動を続けている。



「ラジオ収録の様子」

#### ◇参加者、連携先からの信頼獲得

県北地区の地域住民向けに、今年度4つのSNS講座を実施した。他にも3件の要望があり、年々講座の要望数が増加している(図1)。また、日立市女性センターでの講座では、定員の約3倍の応募が殺到し、急遽第2回目の講座の開催が決定した。講座内容と受講者のニーズのマッチングや、学生が教える事に対する安心感などから、参加者や連携先からの信頼感や評判が高まり、需要の増加につながった。



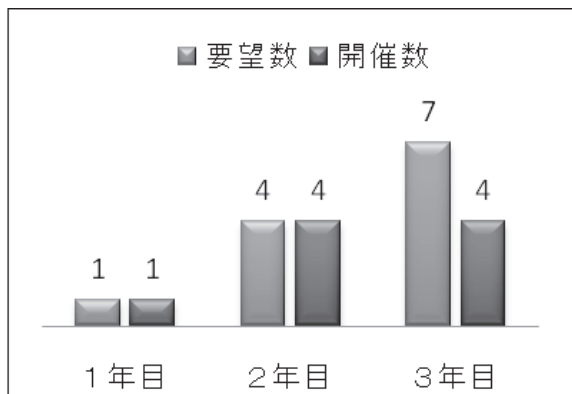


図1：SNS講座の要望数と開催数



「SNS講座の様子」



「リフレッシュ講座の様子」



「リフレッシュ講座リターンの様子」

#### ◇新たな親子サークルの独立

毎年好評であるリフレッシュ講座では、イベント参加者からの「定期的で開催してほしい」という声を取り入れ、交流会『リフレッシュ講座リターンズ』を実施した。リターンズは、参加者同士のつながりを継続的なものにするため、母親同士の交流を目的に開催した。その後、受講者の強い要望により新たな親子サークルが独立した。これは、当イベントを3年間継続した事で育まれた講師との信頼関係や、イベントの質の向上による成果である。参加者同士、参加者と講師の継続的なつながりを作ることができた。

#### ◇地域団体同士の共催イベントの実現

昨年11月に実施したBeautySalonでは、目標のひとつである地域団体同士の連携が達成できた。イベント内のパネル討論会では県北地区で活躍する各地域団体の代表者が集まり、「女性のセルフブランディング」について議論を重ねた。その結果、当イベントをきっかけに地域コミュニティ同士の共催イベントが実現した。お互いの意見を交流する機会を設ける事で、普段はつながる事のできない地域コミュニティ間に新たなつながりを作るきっかけを提供できた。





「BeautySalonの様子」



「太田コンの様子」

#### ◇街コンでの地域活性化に貢献

以前から連携活動を続けてきた常陸太田市からの申し出により、街コン(太田コン)の実行委員として活動した。街コンは、全国各地で商店街を中心とした地域活性化を目的として開催されている。今回私たちは「企画」と「広報」それぞれの部会に所属し、太田コンの中心メンバーとして会議に参加した。当プロジェクトでは街コンを盛り上げるためのツールや、街コン専用SNS (WEBコン) を提案し、実際に太田コンで利用された。多くの出会いが生まれる場面に立ち会うことで、地域の活性化活動に貢

献できた。

#### ●外部評価

昨年度に引き続き、広報誌やラジオ、ケーブルテレビなど、様々なメディアに活動を多く取り上げて頂いた。出演・掲載日の詳細は以下の通りである。

メディア名	掲載・出演日
日立市男女共同参画情報紙「らぽーるの風」	9月第17号
FMひたち	10月9日

茨城大学広報誌「iUP」	10月10日 vol.03
茨城大学図書館 工学部分館展示	11月12日～ 11月25日
茨城放送	11月26日
日立市ケーブルテレビJWAY	11月16～30日



「図書館展示の様子」

イベント参加者へのアフターケア	◎	「リフレッシュ講座リターンズ」の開催や、親子サークルの立ち上げなど、継続的な繋がりを支援。
地域コミュニティ同士の連携強化	○	BeautySalonで、他団体同士の交流の場を設けた事で、地域コミュニティ間に新たな繋がりが生まれた。
地域団体との連携イベント開催	○	常陸太田市の街コンに参加し、地域一丸となって活性化に貢献。

### ●目標達成度合

今年度の目標に対する達成度合を以下のよう  
に評価した。

目標	達成度	成果
活動拠点の 広域化	△	SNS講座や「太田コン」など、日立市外でも活動を行ってきたが、主催イベントは日立市内にとどまってしまった。
地域メディアによる認知度向上	◎	ラジオ番組、ケーブルテレビのレギュラー獲得など、自ら各メディアでの情報発信が可能に。
第二次ネットワークへの浸透	○	イベントの質の向上や、連携先との連携強化による信頼や評判の獲得。

### ●今後の展望

今年度は、人との出会い、つながりをより強く感じる一年となった。

今までの活動を通じて得られた地域とのつながりから、新たな事業・イベントなどを作り上げる事ができた。加えて、本プロジェクトのイベントをきっかけに親子サークルの立ち上げが実現するなど、「本プロジェクト」と「地域団体」、「地域住民」の三者の間に、イベントを超えた繋がりができた。

今後も私たち学生の活動が周りの地域団体や地域で活躍する女性たちに影響を与えることで、学生と地域が一体となって県北地区を盛り上げていきたいと考える。

